

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣住民との関わりで、ホームの存在は地域にも認識されており、利用者が散歩・庭掃除等で戸外に出る際は、地域からの声掛けも多い。地域行事には、希望者を募り、希望者限定で参加している。無理のない自然な地域での暮らしが感じられる。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年2回の定期開催がある。ホームの活動報告・活動予定、認知症高齢者について必要な知識等を情報提供し、参加者と意見交換を図り、ホーム運営に反映させている。会議形態は制度とは異なるが、ホームでの必要性を考えた会議運営を行っている。	評価 ×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当窓口・担当者は、ホーム運営に協力的であり、相談・助言、意見・情報交換等、円滑な協力関係にある。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 今回家族アンケート結果でも、家族の意見・要望の聴き取り、その実現に関しては家族からの高い評価がある。家族会・面会時・電話連絡時等、様々な機会を活かして、柔軟に対応している。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者は、運営推進会議開催について、意義と意味を深く考え、今年度は半年毎の年2回開催を実施している。ホームに何ら問題もなく、地域・行政とも良好な関係を構築している現在、2ヶ月毎の開催のリスクを考慮しての決断である。外部評価においては、制度の趣旨通りの運用が必須となり、評価は×、総合評価も×となるが、年2回開催の運営推進会議でも、運営推進会議の本来目的はクリアできている事を特記したい。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。